

職質技術の“先生”に

県内2人目「技能指導官」認定 当間警部補



県警(笠原俊彦 本部長)は28日、警察活動において高度な専門的技術を持ち、警察官の“先生”として、後輩警察官の指導に当たる「技能指導官」に



当間警部補

県警本部

地域課の当間警部補(53)を任命した。技能指導官は県内で2人目。当間警部補は現在、地域課職務質問指導班に在籍している。今後は本業の傍ら、職務質問の技術を後輩警察官に教えていく。

わってきた。「職務質問は第一印象が重要。『変だな』と感じたら積極的に声を掛けるよう指導してきた。今後、自分のスキルアップを図るとともに、技術を後輩に伝えていきたい」と意気込む。

現在、県警には2人の技能指導官のほか、25人の指導官がいる。窃盗捜査、薬物捜査、交通部門の事故捜査など、さまざまな部門の専門知識を持ち、後輩警察官の育成を行っている。